

留学生入試 (English Essay)

出題の意図：

開智国際大学国際教養学部では、アドミッション・ポリシーにあるように、「グローバル化が進む変化の激しい社会にあって、国際的な広い視野を有し、論理的に考察し、問題を発見し解決する意欲と能力を兼ね備えた、主体的に行動できる人材の養成を主たる目的」としている。この目的の実現のために、a) 人間や社会に対して幅広い関心を有する者、b) 現代社会における課題の発見と解決に積極的に貢献しようとする意欲を有する者、c) 日本の社会、文化、言葉に高い学修意欲があり、自国と日本をつなげる活動に関心がある者、d) ディスカッションに積極的に参加できる者、e) 自分の言葉で自分の考えを述べることのできる者という5つの資質を有する者を求めている。

そこで、留学生入試における English Essay では、上記の資質をはかるために、提示された日常的・社会的なテーマに対して自分自身の意見をしっかりと持っているか、また、それを英語で適切に表現できる能力をはかることができる自由記述問題を出題している。

評価基準：

多様な解答が可能なことから、模範解答は示さない。

1. 提示されたテーマに対して、自分自身の意見をしっかりと持っている。
2. 自分の知識や経験を活かして論を展開している。
3. 英文の内容が論理的であり、一貫性を持つ、説得力のあるものになっている。
4. 語彙や表現など、英語を正しく使えている。
5. 250語から300語の英語で書かれている。